

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-78	高等学校	国語科	現代文 B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	現 B 327	現代文 B		

1. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選定について、以下のような方針で編修しました。

各単元の構成と内容

- 1 **幅広い知識と教養**を身に付け、**表現の豊かさや美しさ**を感じ取ることができるような構成にしました。
- 2 **個人の価値を尊重**し、一人一人が能力を伸ばし合い、**創造性**を培えるように学習活動を工夫しました。
- 3 **幅広い言語活動**を通して、**国語の総合的な言語能力**を育成することを重視しました。
- 4 さまざまな**言語活動**を通して、**言葉への興味・関心**を養うことができるような教材化を行いました。

教材の選定について

- 1 評論は、現代社会が抱える諸課題について、**幅広い知識と教養**を身に付け、自ら考察を深めることができるものを厳選しました。
- 2 小説は、長く読み継がれている名作をはじめ、生徒にとって親しみやすい同時代の作家の作品を厳選し、**豊かな情操と道徳心**を培えるよう配慮しました。
- 3 近代以降に作り出されたさまざまな仕組みについて考え、自分の意見をもち、他者の視点を受け入れることで、**創造性**を培い、更に**主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度**を養うことができるようにしました。
- 4 自分たちの身体や、科学技術、環境などの問題に関する教材を通じて、**生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度**を養うことができるようにしました。
- 5 我が国の国土と郷土の美しさ、**伝統文化の豊かさ**について知り、**日本語を愛する心**をはぐくむ教材を多数選定しました。

2. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第一部		
随想 大人への丸太 たじろがず渡ってみよう 姜尚中 アテネへの旅 多和田葉子 ステップアップ 日本文学と日本語文学	『大人への丸太 たじろがず渡ってみよう』 では、自己を支える言葉を見つけ、人生を考えることで、豊かな情操と健やかな身体を養えるようにしました。〈第1号〉 『アテネへの旅』 では、活動の場を日本と海外に置いている小説家の随想を読むことで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。〈第5号〉 ステップアップ 『日本文学と日本語文学』 では、日本語が国境を越えて開かれていることを知ることで、伝統と文化を尊重し、日本語を愛する心をはぐくめるようにしました。〈第5号〉	P8-19
評論一 ミロのヴィーナス 清岡卓行 わからない絵の魅力 岡本太郎 ステップアップ 芸術—新たな認識の獲得	『不完全』 なものの逆説的な「美」の姿を明確に照射した 『ミロのヴィーナス』 では、逆説的な表現と常識を破る発想にふれることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。このような表現と思考とのつながりをたどることで、評論文のもつ説得力を感じ取る体験ができます。〈第1号〉 『わからない絵の魅力』 では、非合理性の中に人間精神の根源があるという筆者の主張にふれることで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を養えるようにしました。〈第1号〉 ステップアップ 『芸術—新たな認識の獲得』 では、二つの評論に共通して、常識を破る発想とパラドクシカルな表現があることに着目させます。「視点を変えて見る」ことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。〈第1号〉	P20-37
小説一 山月記 中島 敦 雀こ 太宰 治 ステップアップ 文体から読む—『山月記』と『雀こ』の世界—	『山月記』 では、登場人物の心理を追いつつ正確に読むことで、人間存在についての考察を主体的・自覚的に深めながら、豊かな情操と道徳心、個人の価値を尊重する態度を培えるようにしました。〈第1号、2号〉 『雀こ』 では、方言で書かれた特徴的な文体を味わうことで、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心をはぐくめるようにしました。〈第5号〉 ステップアップ 『文体から読む—『山月記』と『雀こ』の世界—』 では、文体に着目して読むことで、小説の新たな味わい方を知り、豊かな情操と日本語を愛する心をはぐくめるようにしました。〈第1号、5号〉	P38-61
評論二 〈像〉としての身体 鷺田清一 意味と身体 内田 樹 ステップアップ 精神と身体	『〈像〉としての身体』 では、自己の身体を〈像〉として捉え直すことで、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉 『意味と身体』 では、言語活動と身体実感との緊密な関係性を考えることで、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、職業及び生活との関連が重視できるようにしました。〈第2号〉 ステップアップ 『精神と身体』 では、西洋思想の歴史にふれつつ、精神と身体の関係を考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。〈第1号〉	P62-77

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
詩歌 竹 萩原朔太郎 永訣の朝 宮沢賢治 のちのおもひに 立原道造 現代の俳句 現代の短歌 ステップアップ 俳句・短歌の革新と正岡子規	『竹』『永訣の朝』『のちのおもひに』『現代の俳句』『現代の短歌』では、近代から現代を代表する詩人、俳人、歌人の作品にふれることで、創造性を培い、伝統的な文学形式を学び、日本語を愛する心をはぐくめるようにしました。ここで取り上げている萩原朔太郎、宮沢賢治、立原道造、高浜虚子から夏石番矢にいたる「現代の俳句」10句、明石海人から俵万智にいたる「現代の短歌」10首は、いずれもそれぞれの時期の代表的な作品であり、韻文表現の豊かさや言葉の可能性について主体的に学ぶことができます。(第2号、5号) ステップアップ『俳句・短歌の革新と正岡子規』では、明治時代の俳句・短歌の革新について学ぶことで、伝統と文化を尊重し、日本語を愛する心をはぐくめるようにしました。(第5号)	P78-95
評論三 記号の世界を生きる 立川健二 ことばの学習が科学的思考の基礎となる 今井むつみ ステップアップ 記号の世界を生きるということ	『記号の世界を生きる』では、記号と意味の生成・解体のプロセスを知ることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号) 『ことばの学習が科学的思考の基礎となる』では、言語習得の過程と科学的思考の関係を学ぶことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、個人の能力を伸ばして創造性を培えるようにしました。(第1号、2号) ステップアップ『記号の世界を生きるということ』では、社会システムの中で生きることの意味を考え、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第3号)	P96-115
小説二 神様2011 川上弘美 バックストローク 小川洋子 ステップアップ 虚構と現実	原発事故によって日常生活の多くの部分が破壊された過酷で絶望的な状況の中で、熊と気づかい合って散歩するひと時の豊かな交流を描く『神様2011』では、虚構が真実を描く文学の神髄を体験しながら、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第4号) 日常に潜む生理的違和感を具象化して描き、現代の病理をわかりやすいかたちで考えさせる『バックストローク』では、現代の文学作品に親しみながら、豊かな情操を養えるようにしました。(第1号) ステップアップ『虚構と現実』では、虚構化することによって特殊で個別的な現実を超えた普遍性を獲得しようとする小説のあり方を示し、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を養えるようにしました。(第1号)	P116-145
評論四 文学のふるさと 坂口安吾 陰翳礼讃 谷崎潤一郎 ステップアップ 逆説と矛盾	『文学のふるさと』では、時として既成の秩序を突き抜ける人間存在の真実を自己の内なる現実として実感することに文学のおもしろさを見るという筆者の考え方にふれることで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を養えるようにしました。(第1号) 『陰翳礼讃』では、日本の食器や料理が陰翳を基調とし、陰翳の中に美を見いだすという筆者独特の美意識にふれながら、日本の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第5号) ステップアップ『逆説と矛盾』では、評論文に見られる逆説的表現や一見矛盾した表現の解釈の仕方を学びます。(第1号)	P146-165
小説三 ころろ 夏目漱石 ステップアップ 夏目漱石の個人主義	明治の文豪夏目漱石の『ころろ』を読むことで、文学作品を通して人間の心のありようを考え、登場人物の心理変化を読み取る作業のなかで、人間精神の孤独や言語表現の可能性についても知ることができます。また、私たちの生きる現代の基礎を作った明治という時代を知ることに学習を発展させることもできる教材です。幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を養えるようにしました。(第1号) ステップアップ『夏目漱石の個人主義』では、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにするとともに、他者を敬愛する心をはぐくめるようにしました。(第2号、3号)	P166-191
評論五 「である」ことと「する」こと 丸山真男 私たちはどこにいるのか? 西谷 修 ステップアップ 言葉を考える、社会を考える	現代社会の状況と人間の深部にふれた『「である」ことと「する」こと』は、我が国の社会構造と思考の特質を衝いた定評のある教材です。丸山評論で近代の論理を学び、自主及び自律の精神を養うとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第2号、3号) 『私たちはどこにいるのか?』では、科学技術と産業システムをグローバル化の根本と捉え、システムの中に身を置く現代人のあり方を問い直す視点を与えています。(第3号) ステップアップ『言葉を考える、社会を考える』では、「民主主義」と「グローバル化」の歴史を振り返りながら、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号)	P192-213
表現 1 言葉を吟味して短歌を作ろう 2 資料を分析して報告しよう	『言葉を吟味して短歌を作ろう』では、短歌の穴埋めや創作を通して、創造性を培うとともに、日本語を愛する心をはぐくめるようにしました。(第2号、5号) 『資料を分析して報告しよう』では、複数のグラフを関連づけて読み解き、わかったことを論理的に書く活動を通して、個人の能力を伸ばすとともに、職業及び生活との関連を重視できるようにしました。(第2号)	P214-218

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第二部		
随想 後生の桜 石牟礼道子 同情トイフコト 大江健三郎 ステップアップ 随想と評論	人間の生命の尊厳について深い思索を促す『 後生の桜 』は、娘の最期を語る母親の美しくも悲しい言葉を通し、忘れてはならない記憶として水俣病を鋭く浮き彫りにしています。生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉 『 同情トイフコト 』では、障害のある息子への理不尽な怒りの衝動を直視することで、自分を含めた人間の内奥を見つめ、人間認識と想像力の展開によって他者との共生を図るといった大江健三郎ならではの論理展開を読み取ることができます。正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる心をはぐくめるようにしました。〈第3号〉 ステップアップ『 随想と評論 』では、優れた随想を例に、優れた文章は共感を誘うことと説得することの両方を備えていることを説き、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。〈第1号〉	P220-239
小説一 アルプスの少女 石川 淳 美神 三島由紀夫 ステップアップ 作品から作品を作る	『 アルプスの少女 』は、戦争と戦後の人間状況を名作を下敷きにした寓話性の中に投げ込み、人間の生命の尊厳について深い思索を促します。〈第4号〉 『 美神 』は、美と人間の関係を、三島独特の美意識と知的な構成で描いた作品です。幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を養えるようにしました。〈第1号〉 ステップアップ『 作品から作品を作る 』では、文学で早くから行われてきた「パロディ」や「二次創作」の本質を説き、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、創造性を培えるようにしました。〈第1号、2号〉	P240-263
評論一 虚構のリアリズム 岡 真理 地図の想像力 若林幹夫 ステップアップ 〈表象〉と〈物語〉	『 虚構のリアリズム 』は、「リアルさ」を問うことの必要性、すなわち〈できごと〉の表象に対する根源的な問いの必要性を真摯な文体で提起しています。〈第3号〉 『 地図の想像力 』は、地図に表現された「世界」は、ある限定的な「世界像」であり多様な現実の中の一つであるという、「テキスト」としての地図のもつ意味を論じています。「現実」を捉えるということは一様ではないとの気づきを促し、真理を求める態度を養えるようにしました。〈第1号〉 ステップアップ『 〈表象〉と〈物語〉 』では、「現実」という一見自明に思われる事柄が、「表象」や「物語」によって構成されていることを説いています。現代の思考が直面する困難な課題の一つにふれることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。〈第1号〉	P264-281
詩 落葉 ヴェルレエヌ/上田 敏 訳 小諸なる古城のほとり 島崎藤村 小景異情 室生犀星 ステップアップ 近代詩の自覚の歩み—藤村、白秋、朔太郎	日本近代詩の確立に大きく貢献した上田敏、島崎藤村、室生犀星の作品を採録しました。『 落葉 』『 小諸なる古城のほとり 』『 小景異情 』を読み味わうことで、創造性を培い、日本語を愛する心をはぐくめるようにしました。また、音読することによって、近代詩に特徴的なリズムや形式、比喩などといった修辞法についても学ぶことができます。〈第2号、5号〉 ステップアップ『 近代詩の自覚の歩み—藤村、白秋、朔太郎 』では、近代詩の歴史に学習を発展させることができます。〈第1号〉	P282-291
評論二 欲望と資本主義 佐伯啓思 戦いの本質とは何か 山極寿一 ステップアップ 今を生きぬくために	『 欲望と資本主義 』では、資本主義社会を欲望のフロンティアの拡張運動と捉える社会経済論に関する原理的考察をわかりやすく説きます。社会の仕組みを考えるきっかけを与え、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉 『 戦いの本質とは何か 』では、大量虐殺や戦争が人類にのみ起こる原因を霊長類学者の視点で解き明かします。人類の前に立ちはだかる課題について深く考えることで、正義と責任、他者への許容性を重んずる精神を養えるようにしました。〈第3号〉 ステップアップ『 今を生きぬくために 』では、優れた評論文から現代社会の課題を知り、今を生きぬくヒントを得ようと説きます。〈第1号〉	P292-313
小説二 俘虜記 大岡昇平 おどる男 中野重治 ステップアップ 時代背景を調べよう	戦争下での極限状態の人間の心理を描いた『 俘虜記 』では、生きることの意味を主体的に考えることで、豊かな情操と道徳心、健やかな身体を養うとともに、生命を尊ぶ精神を養えるようにしました。〈第1号、4号〉 敗戦後の混乱した世界を生きる人間たちを描いた『 おどる男 』では、時代に翻弄されつつ生きる人間の姿を通して、文学と時代の関係について学ぶことができます。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度と豊かな情操を養えるようにしました。〈第1号〉 より深い作品理解の実践を旨とし、背景となる時代を調べるために、ステップアップ『 時代背景を調べよう 』を置きました。〈第1号〉	P314-343

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>評論三 民話と幻想 河合隼雄 巫女の視点に立つこと 大澤真幸 ステップアップ 意識と無意識</p>	<p>『民話と幻想』では、深層心理学の入門として、ユング派の河合隼雄の評論を取り上げています。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度と豊かな情操を養えるようにしました。〈第1号〉</p> <p>『巫女の視点に立つこと』では、社会学者の視点を通して、人間の心のあり方に影響する社会の構成を考えます。幅広い知識と教養を身に付け、現代社会が抱えるさまざまな課題について自ら考察を深めることができるようにしました。〈第1号〉</p> <p>ステップアップ「意識と無意識」では、無意識の力について言及しています。フロイトやユングなど、心理学に関する発展的な学習につなげることができます。〈第1号〉</p>	P344-361
<p>小説三 舞姫 森 鷗外 ステップアップ 豊太郎の真実</p>	<p>『舞姫』からは、現代においても非常に多くのものを学ぶことができます。主人公の苦悩の青春は、近代日本の苦悩でもあり、自我の目覚め、近代的恋愛、封建的家族制、立身出世、留学など、近代日本における問題のほとんどがこの作品に描かれています。また、雅俗折衷の擬古文体の魅力も味わうことができます。そのため、本文の傍らに多くの注を配し、できるだけ本文から離れることなく読むことができるように工夫しました。幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うとともに、日本語を愛する心をはぐくめるようにしました。〈第1号、5号〉</p> <p>ステップアップには、現代に生きる高校生の視点で豊太郎について考える『豊太郎の真実』を置きました。〈第1号、2号〉</p>	P362-397
<p>評論四 〈私〉はどこへ行く？ 黒崎政男 技術の変質と二十一世紀の課題 加藤尚武 ステップアップ 今こそ幅広い教養を</p>	<p>『〈私〉はどこへ行く？』は、デジタル・テクノロジーが進歩し、監視・管理が進む現状を指摘しています。科学と社会を考察するこの評論から、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉</p> <p>『技術の変質と二十一世紀の課題』は、技術の発達が人間の意思決定の仕組みを超えていることを指摘し、現代社会の諸課題を考察するために理系と文系の溝を越える哲学の重要性を説いています。未来のために何が重要かを考えるきっかけを与え、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉</p> <p>ステップアップ「今こそ幅広い教養を」では、科学技術のあり方や未来世代との関わりについて、人間知が生み出し急速かつ強大な発展を遂げる科学技術への、人間知からの反省の必要を提起し、考察を促します。〈第4号〉</p>	P398-413
<p>表現 3表現を工夫して「ご当地CM」を作ろう 4相互に評価して小論文の構成を考えよう</p>	<p>『表現を工夫して「ご当地CM」を作ろう』では、画像やメディアによる表現の工夫を理解し、効果的なPRの方法について考えます。創造性を培い、表現することの楽しさを味わえるようにしました。〈第2号〉</p> <p>『相互に評価して小論文の構成を考えよう』では、相互評価を通じて人間や社会について考えを深め、小論文を書きます。個人の価値を尊重してその能力を伸ばすとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。〈第2号、3号〉</p>	P414-418

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、以下の点について編集上の工夫をしました。

- ◎中学校までの学習を更に発展拡充させ、豊かな人間性や創造性をはぐくみ、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うとともに、高い教養、専門的な知識、技術及び技能を習得することができるよう、さまざまなジャンルから多種多様な文種の文章を厳選して構成しました。〈学校教育法第五十一条 一、二〉
- ◎言語活動によるコミュニケーションを通して自己を知り、個性の確立に向かって努力し、社会についての広く深い理解と健全な批判力、社会の発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。〈同三〉
- ◎より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表示の工夫により、学びやすい紙面づくりに配慮しました。
- ◎教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-78	高等学校	国語科	現代文 B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	現 B 327	現代文 B		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 1 さまざまな言語活動を通して、言葉への興味・関心を高めることができるような教材化を目指しました。
- 2 現代社会が抱える諸課題について、幅広い知識と教養を身に付け、自ら考察を深めることができる教材を厳選しました。
- 3 長く読み継がれている名作をはじめ、生徒と同時代の親しみやすい作品も掲載して、豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮しました。
- 4 我が国の国土の美しさ、郷土の温かさ、伝統文化の豊かさについて知り、日本語を愛する心をはぐくむ教材を多数選定しました。
- 5 自ら学び自ら考えることを重視し、生徒の主体の形成に資するような教材化を工夫しました。

教科書の構成

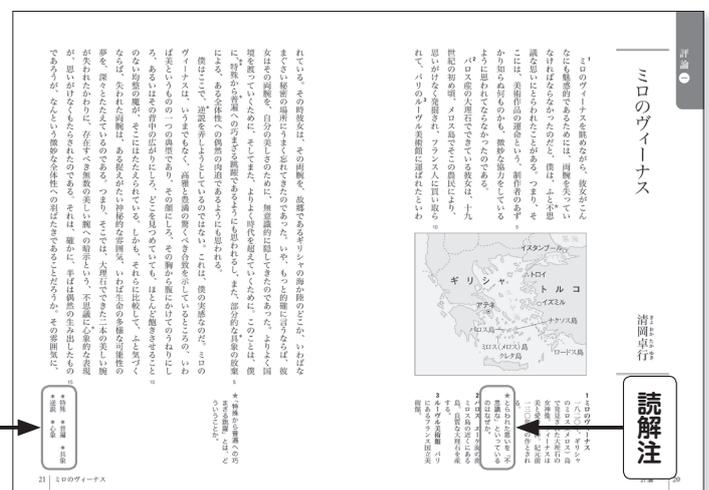
ねらいと構成

教材を読み進めるうえで、読解のポイントとなる本文の箇所に「★」印をつけ、脚注欄に設問や注意喚起の形で示しました。生徒が、注意深く本文を読み進める一助にすることができます。

作品中で、身に付けたい語彙、知っておきたい成句や慣用句などがある場合は、その語に「*」印をつけ、見開きごとにまとめました。

「学習の手引き」は、学習者が、基礎的・基本的知識をもとに、自ら課題を発見し解決できるよう、思考力・判断力・表現力を高める工夫をこらした、新しい「学習の手引き」の形です。「理解」「発展」と、「言

身に付けたい語彙・成句など。



▲第一部 評論一『ミロのヴィーナス』(P20-21)

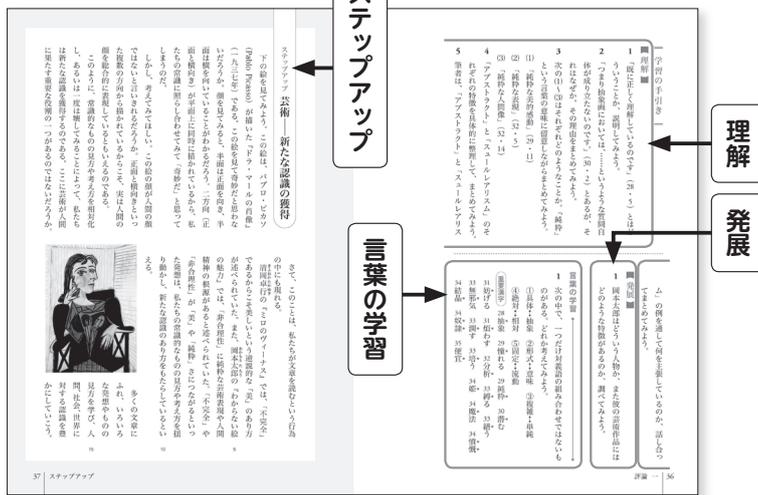
「葉の学習」の二つの部分に分かれています。

「理解」「発展」では、作品の構成をつかむための設問、読解のポイントをおさえた設問、表現方法を捉えるための設問のほか、言語活動を促す設問も、適宜設けてあります。

「言葉の学習」は、作品の本文と関連させて、言葉の知識の定着を図る練習問題と、漢字習得のための「重要漢字」欄で構成されています。

各単元末に置いた「ステップアップ」は、主に「読解を深める」「発展的な知識を広げる」ことを意図しています。授業の参考としてはもちろん、自学自習のためにも役立つコラム教材です。

付録には、現代文Bで学習する言語事項を支える有用な資料を掲げました。



▲第一部 評論『わからない絵の魅力』と「ステップアップ」(P36-37)

教材の特色

近現代の名作をはじめ、多様なテーマで配列された評論や随想にふれることで、「読むこと」の能力を高め、生徒が主体的に読書し表現する契機となるような教材を選択・配置しました。

格調高い文章、定評ある作品等を採録して、論理的な文章を的確に読み、文学的文章を味わう力を養うだけでなく、そこから人間・社会・自然などについて自分の考えを深め、発展させるよう留意しました。また、基礎的事項を確認し、話すこと・聞くこと、書くことの言語活動を効果的に取り入れ、積極的に表現することを通して生徒の生きる力を育成しうよう配慮しました。

人間や社会への考えを深めさせる評論や随想

This screenshot shows a page from the textbook featuring a review of the essay 'アテネへの旅' (A Journey to Atena) by Taeko Kudo. The page includes a photograph of a landscape and text discussing the author's perspective on the journey. The review is titled '巫女の視点に立つこと' (Standing from the Perspective of a Witch) and is written by Taeko Kudo. The text discusses the author's observations and reflections on the journey to Atena.

▲第一部 随想『アテネへの旅』(P12)
第二部 評論『巫女の視点に立つこと』(P352)

日本近代文学の名作

This screenshot shows a page from the textbook featuring a review of the novel 'ところ' (A Place) by Shiga Naoya. The page includes text discussing the author's perspective on the novel. The review is titled 'ところ' and is written by Shiga Naoya. The text discusses the author's observations and reflections on the novel.

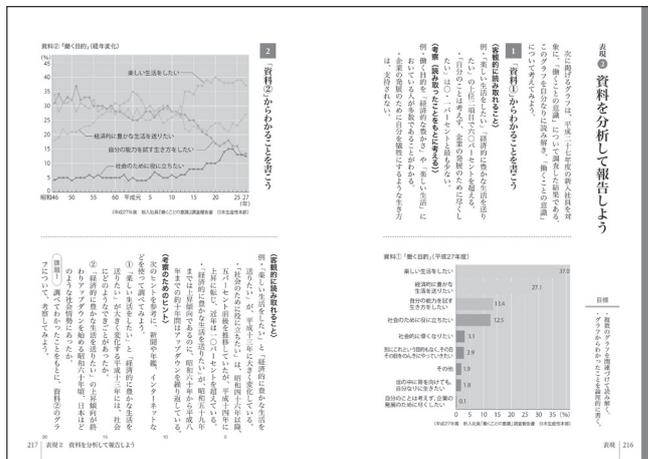
▲第一部 小説『ところ』(P166)
第二部 小説『舞姫』(P362)

言語活動の特色

第一部末と第二部末に、「短歌」「レポート」「CM」「小論文」などのさまざまな言語活動を盛り込んだ小教材を設定しました。「話す・聞く・書く」言語活動を通して、自分の考えが他者に伝わることの喜び、コミュニケーションの必要性を実感できるよう工夫しました。



▲第二部 表現『表現を工夫して「ご当地CM」を作ろう』(P144)



▲第一部 表現『資料を分析して報告しよう』(P216)

コラムおよび付録の特色

単元末に、各単元の内容に応じ、生徒の思索や調べ学習を支援するようなコラムを配しました。また、付録には、評論文を読むにあたり必要な事物を解説したキーワード集と、生徒の読書意欲を喚起する読書案内を置きました。

付録「現代文読解のためのキーワード集」と「読書案内 学習を広げるための52冊」



▲付録「現代文読解のためのキーワード集」(P420)
「読書案内 学習を広げるための52冊」(P437)

コラム「ステップアップ」



▲第二部 小説ー ステップアップ「作品から作品を作る」(P262)

2. 対照表

凡例 3 = 内容 (1)指導事項 (2)言語活動例 4 = 内容の取扱い

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第一部			
随想 大人への丸太 たじろがず渡ってみよう 姜尚中 アテネへの旅 多和田葉子 ステップアップ 日本文学と日本語文学	3(1)アイウオ 4(1)(2)(3)	P8-11 P12-18 P19	
評論一 ミロのヴィーナス 清岡卓行 わからない絵の魅力 岡本太郎 ステップアップ 芸術—新たな認識の獲得	3(1)アイウオ 3(2)イ 4(1)	P20-26 P27-36 P37	
小説一 山月記 中島 敦 雀こ 太宰 治 ステップアップ 文体から読む—『山月記』と『雀こ』の世界—	3(1)イウオ 3(2)ア 4(1)(2)(3)	P38-51 P52-59 P60-61	
評論二 〈像〉としての身体 鷲田清一 意味と身体 内田 樹 ステップアップ 精神と身体	3(1)アウオ 3(2)イ 4(1)	P62-68 P69-76 P77	
詩歌 竹 萩原朔太郎 永訣の朝 宮沢賢治 のちのおもひに 立原道造 現代の俳句 現代の短歌 ステップアップ 俳句・短歌の革新と正岡子規	3(1)イウオ 3(2)アエ 4(1)(3)(4)	P78-80 P81-85 P86-88 P89-94 P91-94 P95	
評論三 記号の世界を生きる 立川健二 ことばの学習が科学的思考の基礎となる 今井むつみ ステップアップ 記号の世界を生きるということ	3(1)アウオ 3(2)イ 4(1)	P96-103 P104-114 P115	
小説二 神様2011 川上弘美 バックストローク 小川洋子 ステップアップ 虚構と現実	3(1)イウオ 3(2)ア 4(1)(2)	P116-126 P127-144 P145	
評論四 文学のふるさと 坂口安吾 陰翳礼讃 谷崎潤一郎 ステップアップ 逆説と矛盾	3(1)アイウオ 3(2)イ 4(1)(2)	P146-157 P158-164 P165	
小説三 こころ 夏目漱石 ステップアップ 夏目漱石の個人主義	3(1)イウオ 3(2)ア 4(1)(2)(3)	P166-189 P190-191	
評論五 「である」ことと「する」こと 丸山真男 私たちはどこにいるのか？ 西谷 修 ステップアップ 言葉を考える, 社会を考える	3(1)アウオ 3(2)イ 4(1)(2)	P192-204 P205-212 P213	
表現 1 言葉を吟味して短歌を作ろう 2 資料を分析して報告しよう	3(1)イウエオ 3(2)アウエ 4(1)(4)	P214-215 P216-218	

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第二部				
随想	後生の桜 石牟礼道子 同情トイフコト 大江健三郎 ステップアップ 随想と評論	3(1)アイウオ 3(2)アイ 4(1)(2)(4)	P220-225 P226-238 P239	
小説一	アルプスの少女 石川 淳 美神 三島由紀夫 ステップアップ 作品から作品を作る	3(1)アイウオ 3(2)ア 4(1)(2)(3)	P240-250 P251-261 P262-263	
評論一	虚構のリアリズム 岡 真理 地図の想像力 若林幹夫 ステップアップ 〈表象〉と〈物語〉	3(1)アウオ 3(2)イウ 4(1)	P264-271 P272-280 P281	
詩	落葉 ヴェルレエヌノ上田 敏 訳 小諸なる古城のほとり 島崎藤村 小景異情 室生犀星 ステップアップ 近代詩の自覚の歩み—藤村, 白秋, 朔太郎	3(1)イウオ 3(2)ア 4(1)(2)(3)(4)	P282-284 P285-287 P288-289 P290-291	
評論二	欲望と資本主義 佐伯啓思 戦いの本質とは何か 山極寿一 ステップアップ 今を生きぬくために	3(1)アウオ 3(2)イ 4(1)(2)	P292-300 P301-312 P313	
小説二	俘虜記 大岡昇平 おどる男 中野重治 ステップアップ 時代背景を調べよう	3(1)イウオ 3(2)アエ 4(1)(2)(3)	P314-331 P332-342 P343	
評論三	民話と幻想 河合隼雄 巫女の視点に立つこと 大澤真幸 ステップアップ 意識と無意識	3(1)アウオ 3(2)イエ 4(1)(2)	P344-351 P352-360 P361	
小説三	舞姫 森 鷗外 ステップアップ 豊太郎の真実	3(1)イウオ 3(2)ア 4(1)(2)(4)	P362-395 P396-397	
評論四	〈私〉はどこへ行く? 黒崎政男 技術の変質と二十一世紀の課題 加藤尚武 ステップアップ 今こそ幅広い教養を	3(1)アウエオ 3(2)イエ 4(1)	P398-405 P406-412 P413	
表現	3表現を工夫して「ご当地CM」を作ろう 4相互に評価して小論文の構成を考えよう	3(1)アイウエオ 3(2)イウエ 4(1)(4)	P414-415 P416-418	